

100カ国を着物で表現

◆ KIMONO プロジェクト

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界196カ国をイメージした着物を制作する「KIMONOプロジェクト」。100着が完成し、4月29日に久留米シティプラザで披露されました。

市内の団体が、日本の伝統を発信するとともに、相手国を知るきっかけにと平成26年に開始。久留米高校生など100人が出演し、色鮮やかな着物をアピールしました。今後、五輪開催までの完成を目指します。



ショーの終了後、シティプラザ大階段に全出演者が集合

精巧な武具ずらり

◆ 大名有馬家の武具甲冑

久留米城跡にある有馬記念館で4月28日から、企画展「大名有馬家の武具甲冑」が始まりました。

久留米藩主の同家に伝わる大名道具の中から、甲冑や太刀などの他、陣羽織などの装束も展示。初日に来場した八木田英史さん(田主丸町)は「城巡りをしている、催しを偶然知りまして。この時代に、よくこんなに精巧な物を作れたなと感心します」と話しました。



展示された甲冑の細部に見入る来場者

筑後川に夏の訪れ

◆ エツ漁解禁

5月1日、筑後川のエツ漁が解禁されました。城島町のエツ大師堂で漁の安全と豊漁を祈願。エツ伝説にならって、大久保勉市長が弘法大師に扮し、エツ船からヨシの葉を流しました。

その後、地元漁師の皆さんが船を出し、流し刺し網漁を行いました。漁期が終わる7月20日(金)まで、市内の飲食店でエツ料理を楽しむことができます。



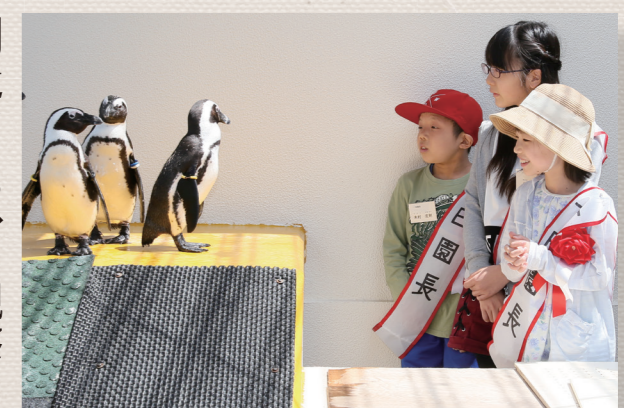
弘法大師に扮する大久保市長(左)

間近でじっくり観察

◆ 鳥類センター一日園長

5月5日、市内の小学生3人が鳥類センターの一日園長を務めました。

森望副市長から辞令を受けた後、園内の見学や一日園長の記念プレート設置などを行いました。午後にはリズガルガイドに挑戦。来園者に特徴や習性などを説明しました。木村友則さん(金丸小6年)は「動物との触れ合いが楽しかったです。あいさつを返してくれる鳥が面白かったです」と感想を話しました。



ペンギンを見学する一日園長の3人

市政の動き

スポーツ振興や災害支援など 大塚製薬と連携協定

4月23日、久留米市は、大塚製薬福岡支店と連携協定を締結しました。

今後、協定に基づいて、大塚製薬は、市内のスポーツ指導者に対して、選手への体調管理や栄養補給に関するセミナーや、小中学生向けの熱中症予防を中心とした健康管理についての講習会などを行います。

また、市内で大規模な災害が発生したときには、同社の食料や飲料水などを提供します。



協定書にサインする大久保市長と後藤支店長(左から)

新たなプロモーションツールで 久留米の魅力PR

久留米市は、全国への情報発信を強化するため、魅力情報と移住情報の2種類のパンフレットを新たに作成。併せてプロモーション特設サイトを開設しました。

魅力情報パンフレットは、久留米ふるさと特別大使の田中麗奈さんが、食や文化・芸術などを紹介。福岡市の観光案内などで配布します。移住情報は、子育て世代向けに、子育てや医療などの生活環境を移住者の声を交えながら紹介。



パンフレットは、田中麗奈さんが登場する魅力情報(左)と移住情報の2種類

東京や福岡の移住相談窓口で配布、活用します。

特設サイトは、キャンペーンや移住相談会などの開催情報を発信する他、久留米市ゆかりの著名人のメッセージなども掲載しています。

5月26日(土)には、福岡市でキャンペーンを実施。さまざまな方法で市の魅力を発信します。

☎シティプロモーション課
0942・30・9228、
0942・30・9703
FAX 0942・30・9703